

神奈川県衛生研究所 学術講演会

家庭用品の安全性確保の取り組みと 実際の健康被害症例の紹介

我が国では家庭用品の安全性を確保するため、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」で、指定した家庭用品について 21 種類の有害物質群の含有量、溶出量又は発散量に関し、必要な基準を定めています。また、それ以外にも健康被害情報の収集やガイドラインの作成など安全確保のために様々な仕組みが存在しています。一方、様々な化学物質が多種多様な家庭用品に使用されており、ネット販売など様々な形態で市場に出され、自由に入手可能になっています。それに伴い、これまで想定していなかった目的や方法で家庭用品を使用したことによる、健康被害の発生も報告されています。

本講演では、はじめに現在の家庭用品の安全性を確保するための仕組みと課題などについてお話しします。次に、実際の健康被害事例などを紹介しながら、その特徴や要因、対応策などについて具体的にお話したいと思います。

講 師

国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部第四室 室長 河上強志 先生

日 時

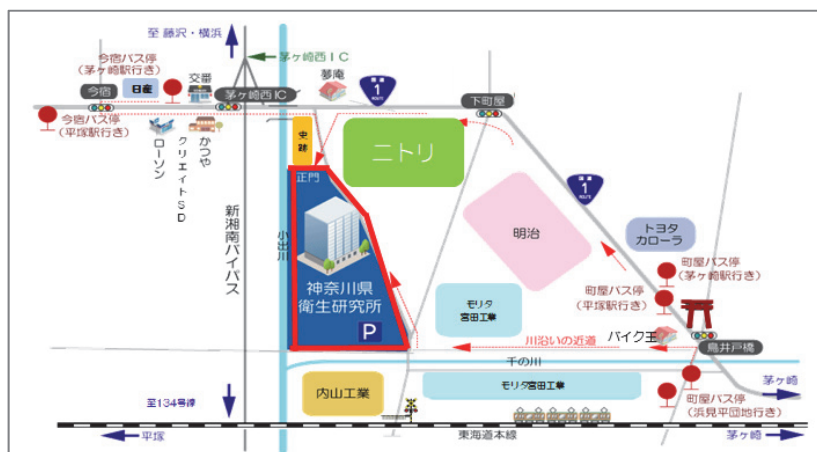
令和 5 年 11 月 30 日 (木) 15:30~17:00

会 場

神奈川県衛生研究所 6 階 大会議室 (神奈川県茅ヶ崎市下町屋 1 - 3 - 1)

J R 茅ヶ崎駅北口下車 神奈川中央交通バス (浜見平団地行：町屋下車 8 分)

(平塚駅北口行：今宿下車 5 分)



*** 申込不要・参加自由です ***



(消費者庁イラスト集より)

〈問合せ先〉

神奈川県衛生研究所
企画情報部 衛生情報課
TEL 0467-83-4400